



1月
12日

守山市消防出初式



**市民の安全を願う
 式典と一斉放水
 防火・防災へ誓い**
 自衛消防隊、消防団が一堂に集まり、安全・安心な一年が送れるよう消防出初式が行われました。式典は市民ホールで行われ、4団体73人に表彰状や感謝状が授与されました。式典の後は市民運動公園駐車場に移動して一斉放水訓練を行いました。災害は日ごろからの備えが重要で、防火・防災のためには自助・共助・公助の連携が必要であることを再認識しました。

1月
9~13日

コンジュ
公州市中学生が守山市を訪問



**市内中学生と交流
 国を越えた友好の
 大切さを確認**
 守山市と姉妹都市提携を結ぶ公州市の公州大学校師範大学付設中学校から、教職員3人と生徒9人が来市し、受入校の立命館守山中学校の生徒たちと授業体験やホームステイなどを通じて親交を深めました。10日には市役所で歓迎会が行われ、市長から「日韓をつなぐ架け橋になってほしい」と激励の言葉を受けてました。

1月
12日

けいこ
冬の琵琶湖で寒中稽古



**約45人が
 湖水に浸かって
 気合いの寒中稽古**
 今浜町地先のなぎさ公園砂浜で市内に道場を構えている陰陽会北辰館の寒中稽古が行われ、子どもから大人まで約45人が参加しました。参加者らはランニングや稽古で身体を温めた後、ゆつくりと琵琶湖に入りました。暖冬とはいえ冷たい水に腰まで浸かった子どもたちは、震えながら「1、2」と声を上げて元気に手足を動かしていました。

1月
12日

かんじょうつり
小浜勸請吊



**厄除けと無病息災
 800年続く願い
 大しめ縄を奉納**
 小浜町で800年前から続くといわれる伝統行事「勸請吊」が営まれました。50歳以上の氏子男性37人が大日堂に集まって長さ約15m直径約20cmの大しめ縄を編み、地域の八幡宮と天満宮に奉納。藁や縄縫いのできる人が減り省略していた飾りの瓔珞が、今年は伝統を後世に伝えるため約15年ぶりに復活。完璧な大しめ縄の姿に氏子からも喜びの声が上がりました。



守山市の人口

令和元年12月31日現在
 (前月比)

人口	83,746	(+ 32)
男	41,306	(+ 6)
女	42,440	(+ 26)
世帯数	32,693	(+ 32)



双眼鏡

2020年が始まりはや1カ月、今年にはオリンピック開催年および守山市制施行50周年の「ゴールデンイヤール」である。1年間、頑張っていることと気合いが入る。改めて「頑張ろう」と決意した理由は、正月早々に熱を出して寝込んでしまったからだ。▼大人になってからの熱は本当にしんどい。子どもは本当に学校行事ごとに熱を出していたが、大人になってから体調を崩すこともめっきりなくなっていた。熱が出るこんなにつらくてしんどかったのかと改めて実感した▼日ごろから公私に関わらず、相手の思いに共感しその人に寄り添った対応をすることを心掛けている。何事も経験することが大切だなと思った。そんな思いを巡らせる寝正月となってしまったが、守山のゴールデンイヤールを健康に盛り上げていきたい。(か)